

平成29年度平塚市子ども・子育て会議
第1回子育て支援事業推進部会 会議録

日時：平成30年3月19日（月）午後1時30分～午後2時40分
場所：平塚市役所本館3階 304会議室

1 議長・副議長の選出

部会委員の互選により議長・副議長が選出された。議長には学識経験者の落合委員、副議長には平塚市民生委員児童委員協議会の黒田委員が選出された。

2 議事

(1) 平成29年度平塚市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価（第4章部分）

本議事について、資料「事業評価シート まとめ（第4章部分）」、「平塚市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価（暫定版）」の御意見に対する回答に基づき、事務局から各事業における評価と今後の事業展開等について説明を行った。

【質疑応答は次のとおり】

基本目標1

委員から意見なし。

基本目標2

・2（1）6 病後児保育

委員：当事業の今後の事業展開は、「②拡大して継続」となっているが、どういうことを検討しているのか。

事務局：現在、市内1か所で実施しており、定員3名で運営している。既存施設の定員増加は、床面積や職員配置の基準により難しい状況である。拡大する場合は既存実施施設の定員を増やすのではなく、他の実施施設を検討する予定。また、時期によっては定員以上の申込みがあり、お断りする場合もあるため、一定のニーズはあると考えている。

委員：現在、実施施設は駅前にあるが、利用者の地域に偏りはあるのか。実施箇所を増やす場合、バランスを考えて設置するのか。

事務局：地区としては大野地区が多いが、離れた金目地区等から利用する方もいる。市としてはバランスを考えて設置を進めたいが、実施する事業者の都合もふまえる必要がある。

委員：現在、拡大ができない理由はなにかあるのか。

事務局：床面積や職員配置の基準により、難しい状況である。また、一定のニーズがあるとはいえ、全く申込みがない日もあり経営が難しい点も課題である。

委員：経営面で負担が大きいのであれば、市として援助することも検討していただくと良いと思う。

基本目標 3・4・5

委員から意見なし。

基本目標 1～5 全体を通して

・ 1 (3) 9 芸術文化子ども体験事業

委員：当事業の検証結果は、「A：成果があがった」となっている。おそらく各地区事業の実施箇所数が増加しているからだと思うが、全体事業の参加人数は年々減少している。各地区事業の実施箇所数のみで検証結果をつけるのであれば、「A：成果があがった」で構わないと思うが、全体事業も当事業の取組みとして位置づける場合、評価をAとするのはおかしいのではないか。もし、全体事業を当事業の取組みとして位置づけないのであれば、【参考】として記載するなど表記を検討する必要がある。以上のことをふまえ、検証結果について再検討していただきたい。

事務局：委員からいただいた意見について、担当課へ投げかけ回答する。

・ 5 (1) ① 2 妊産婦の相談の充実

委員：平成29年度から開設された「子育て世代包括支援センター ひらつかネウラルーム はぐくみ」の詳細について教えていただきたい。

事務局：保健センター3階に「はぐくみ」専用の部屋を置き、保健師2名、保育士1名、助産師1名、事務員2名の計6名を専任として配置している。年間約1800名の妊婦に対して30分程の面接を行い、悩みの相談や情報提供を実施している。早期にリスクを把握し、関係機関との連携を行うことで個別に必要な支援を行うことができる。開設してから一年近くになり、見えてきた課題もある。課題をふまえて、平成30年度から産後ケア事業の開始を予定している。産後の体に良い食事や赤ちゃんの離乳食、子育ての悩みについて講座を月2回実施する予定で、市の職員が対応する。他市だと委託する場合もあるが、平塚市では市の職員が行うところが特徴と言える。

委員：特徴的な事業なので大切にしてほしい。

(2) 平成29年度平塚市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価（第5章部分）

本議事について、資料「事業評価シート まとめ（第5章部分）」に基づき、事務局から各事業における実績値（推計値）と次年度以降の方針等について説明を行った。

【質疑応答は次のとおり】

・ (7) 病児・病後児保育事業

委員：当事業は、「事業評価シート まとめ（第4章部分）2 (1) 6 病後児保育」と同一の事業と捉えていいか。

事務局：お見込のとおり。また、提供量とニーズ量を比較すると提供量は不足していないように見えるが、定員によってお断りする場合もある。ニーズ量には延べ利用者数が入るため、お断りした件数は見込んでいない。計画の推進や見直しをする際は、状況もふまえ総合的に判断していく。

出席者：落合議長、黒田副議長、金田委員、新藤委員、鷺尾委員、吉野委員、山口委員、大山委員、小島委員、佐瀬委員

傍聴者：なし

事務局：健康・こども部長、保育課長、健康課長、保育課 5 人、こども家庭課 2 人、健康課 1 人、青少年課 1 人、教育総務課 2 人、教育指導課 1 人

以 上